

井の口まちづくり会通信

設立・平成20年3月23日
 井の口まちづくり会 発行 令和5年6月15日・第30号通信
 発行 孝夫(井の口まちづくり会会長)
 責任者 小林 孝夫(井の口まちづくり会会長)
 〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760
 事務局 片岡 学史 1029katakaka@gmail.com
 通信作成 馬場わかた bwalkayo@st.commu.faja.jp

若返りを図り、16年目をスタート!

令和5年
 4/29
 (祝)

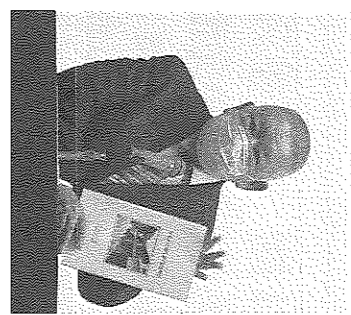
令和5年度定期総会 ●岐阜市歴史博物館 1階講堂

昨年に引き続き対面式の定期総会が、柴橋市長をはじめとする多くの来賓の方々を迎え開催することができました。

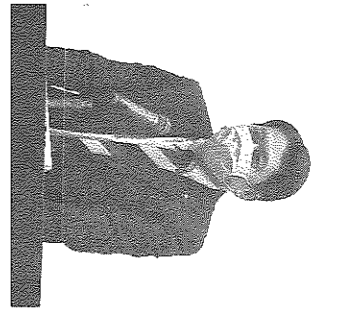
事業報告では、設立15周年記念事業「お宝展」が多くの会場で同時開催されたことや、オンライン、学生客席、勉強会、年賀状展などの開催が成果とともに報告されました。会計報告では、例年どおり苦しい運営状況を露呈することとなり、いかに役員、会員、関係者の皆さまの理解と協力によって本会が存続していることかを再認識する機会となりました。

コロナ禍を経験しながらも事業の継続と新たな展開を繰り返してきた15年間は、本場に皆さんがご協力していただきたいと思います。今回、役員の一部改選によって新たに一人が幹事に参画されました。今後多くの方々の参加を期待し、井の口の歴史文化の継承を目指して活動して参りたいと思います。

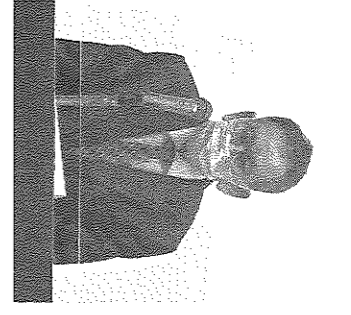
一方、本会初代会長であられた堀達夫様が特別顧問を高齢により辞退されました。これまでの功績に深く敬意を表し、今後とも本会を見届けていただきたいと思います。(小林孝夫)



小林会長の挨拶



岐阜市長 柴橋正直様



金華自治会連合会 高木会長



岐阜市歴史博物館館長 大塚清史様

井の口まちづくり会の活動は会費で運営されています 年会費の納入をお願いします!

- 金華地区会員 1口 500円
 - 金華地区外会員 1口 1,000円
※郵送料を含んでいます
 - 法人・団体会員 1口 1,000円
 - ◎1口以上、活動部会員も募集しています
- 会費納入に関しては、会計長・副会長・事務局長・会計の役員5名へお届くださいければ幸いです。尚、井の口地区内は担当者がいいます。

40代・50代の新役員が昨年から参画!

- | | | |
|------|---------------|----------|
| 特別顧問 | 堀 杉山 | 達夫(退任) |
| 顧問 | 堀 智仙(梶川町・新任) | 秀子(本町1) |
| 相談役 | 松原 和生(末広町) | 和江(松ヶ枝町) |
| 会長 | 高橋 孝夫(大仏町) | 孝夫(大茶屋町) |
| 副会長 | 小伊藤 逸夫(下茶屋町) | 勝利(山口町) |
| 事務局 | 後藤 片岡 | 学史(大仏町1) |
| 局長 | 加野 安伸(梶川町・新任) | 直日(大宮町) |
| 会計 | 安藤 純一(木挽町) | 久子(大仏町) |
| 監査 | 佐藤 教子(末広町) | 健雄(梶川町) |
| | 小林 鈴木 | 紀久子(大仏町) |
| | 武井 高橋 | 英男(夕陽ヶ丘) |
| | 田中 敏晴(今町3・新任) | 憲和(松山町) |
| | 林 馬場 | かよ(万力町) |
| | 森 喜彦(茜部中島) | 壽夫(下茶屋町) |
| | 篠田 利夫 | |

定期総会特別講演



講師プロフィール:
 1964年 三重県伊勢市生まれ
 名古屋芸術大学 美術学部 武蔵野美術大学大学院 造形研究専攻 修了
 岐阜大学立女子短期大学 助教授、名古屋工業大学 社会工学専攻 現在に至る
 非常勤講師、名古屋工業大学 同工學研究科 同専攻教授

魅力ある風景づくりのヒント — デザインの視点から

冒頭、講師の石松教授は「景観は人間が眺めるという行為が初めて初めて成立するもの。眺める、観る人が居るとして初めて成立する。また、愛するこはとにかく楽しくなくてはならない。また、愛するところがなければ良い景観づくりは出来ない」と結ばれました。まちを知るには愛が欠かせない。納得です。

講演は分かりやすく三部構成で進み、まず景観の定義、続いてその手法、最後に石松研究室の事例紹介がありました。導入部分では、講演直前に散策された井の口周辺のフサード紹介があり、講師の優しきを感じさせられました。

景観づくりの手法は「ヒント」としていくつか教示していただきましたが、その取り組みには地域活性化も含まれるとされ、なるほどなとも感じました。また、現状(過去)の伝統的意匠から何を抽出してまち並みに溶け込ませるかも画一的なことではないとされ、新しい建造物の顕彰を検討していくうえで、大変有意義な講演となりました。(小林孝夫)



「鎌倉時代から続く高貴なお菓子」という意味から付けたそうで、元々は新潟市の弥彦神社の前にあった小さなお店が始まりとか。今は全国展開をされていて、大宮町のこの場所への出店は「金華山の見えるこの景色にオナーが目惚れして」と店長さん。

まちなかお宝ツアー発見 わらびもち専門店「鎌倉」

4月13日、以前はサラダ館だった空き店舗にわらびもち専門店がオープンしました。岐阜公園の真ん前という立地条件の良さもあり、週末の午後は行列ができる大盛況ぶりです。

「鎌倉」という店名は、わらびもちが鎌倉時代から続く高貴なお菓子という意味から付けたそうで、元々は新潟市の弥彦神社の前にあった小さなお店が始まりとか。今は全国展開をされていて、大宮町のこの場所への出店は「金華山の見えるこの景色にオナーが目惚れして」と店長さん。

長良橋通りに面したラジコンビル1階とはいえ、まっ白な壁面と大きなサインボードが目立つ外観です。店内では、お抹茶や珈琲、わらびもちなどの飲食ができ、テイクアウトメニューには、季節のドリンク、わらびもちドリンクなどがあり、今の時期は「あじさいドリンク」を提供しています。次の夏、ドリンクも楽しみます。

そして、なんととってもお安いお勧め商品は「独自製法でもっちり食感に仕上げたわらびもち」と言われまします。お土産用の箱入りは10個と5個入りの2種類。翌日までの賞味期限内です。自家製黒みつと一緒に私も早速購入して帰りました。(馬場わかた)

営業時間：10:00～18:00
 年中無休
 電話：058-267-0178
 店長さん(右)とスタッフ

井の口まちづくり会 令和5年度 年間事業とイベント情報

令和5年
6/4
(日)

井の口地区自治会長会議 広報通信作成部会

対象：エリア内自治会長さま 会場：正法寺(庫裡)

毎年6月に、エリア内の自治会長さまを招いて「井の口地区自治会長会議」を行っています。当会の活動内容や趣旨を説明させていただき、ご意見やご提案などを頂戴することで、共にこのまちの歴史・文化の継承やにぎわいを創出し、ていきたいと考え、井の口まちづくり会の活動にご協力をお願いしています。

令和5年
10/14
(土)

井の口地区の地場産業 まちの歴史探索部会

時間：未定 会場：妙照寺本堂

当会の新幹事である安藤商店専務 安藤安伸様による講演会です。長良川を物流の要にして紙や竹、木材が集まるこの地で独自に発達した提灯や雪洞、傘やうちわ等の地場産業。映像等を使い、歴史体験型の講演会を開催します。

令和5年
10/28
(土日)

第14回 まちなかお月見アート

内容・詳細：後日発表

まちなかアート部会

今年の十三夜は10月27日。1日遅いススキの配布になります。玄関先にススキを飾ったまち並みと、金華山に昇る美しいお月さまを鑑賞する恒例のイベントです。大仏殿、妙照寺前の花飾りも楽しんでいただいています。

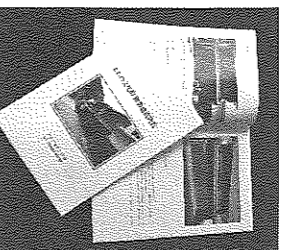
令和5年
7/1
(土)

第1回 まちなか勉強会

「まち並みとまちの文化的建造物」

時間：13時30分～ 会場：正法寺 庫裡

写真は、平成26年から当部会が顕彰した建造物をまとめた「まちの文化的 顕彰建造物覧」(令和5年3月発行)。



まちの風景検討部会

●まち並み勉強会を今年度4回開催予定

今年度開催するまち並み勉強会は、今の井の口の現状を第三者の視点から客観的に見て、未来の井の口の姿を考えるものです。年間4回の開催を予定しています。まち並みや景観を一緒に考えましょう。会場は、正法寺庫裡を予定。時間は、2時間程度で、官民織り交せて毎回多彩な講師をお呼びしてお話を聞き、まち歩きなども計画しています。

令和6年
1/12
(金土日)

第14回 大仏様への年賀状募集 まちなかアート部会

受付期間：令和5年12月11日(月)～令和6年1月9日(火)
投函場所：大仏殿入口、メディアアコーストエス2階中央図書館、アクトライヴ2階 年賀郵便：〒500-8018 岐阜市大仏町8 岐阜大仏様 宛

第14回 大仏様への年賀状展

時間：10時～17時 会場：正法寺(庫裡)
岐阜大仏さまに届いた年賀状は、大仏様の胎内に奉納されます。

令和5年
7/8
(土)

第13回 まちなか七夕コンサート

時間：18時開場・18時30分開演 まちなかアート部会

会場：般若寺(木挽町) 出演：防犯演奏家 犬飼 嶺

般若寺を開放して、夕暮れの金華山をバックに行う七夕のコンサートです。今回の出演者はサツク又奏者で防犯講話もされる大飼 嶺さん。門前には七夕の笹飾り、玄関には吹き流し飾りを飾り、参道に竹筒の灯りを配置してお待ちしています。

令和6年
2/下旬
(日)

学生まちなか寄席 第15回 井の口寄席

時間：18時開場・18時30分開演 会場：妙照寺本堂

全国から「策伝大賞」に集まった学生落語家たちによるまちなか寄席です。岐阜大学落語研究会とタツツを細み、人選交渉もお願ひしています。決勝戦進出者も毎年数人います。また、中入りには温かい豚汁を用意しています。

令和5年
7/23
(土日)

大仏フェスティバル協賛事業 子どもたちへのゲームを企画

大仏フェスティバル実行委員会と共にゲームコーナーを毎年担当。

井の口寄席 学生まちなか寄席

2月19日(日)18時より妙照寺本堂で、14回目となる「井の口寄席」を開催しました。

の「策伝大賞」出場者から、京都大学、立命館大学、大阪大学、明治大学、愛知大学、岐阜大学等の8名の学生に出演いただきました。

国際会議場から妙照寺へ決勝戦終了後に移動のため、上位入賞者はインタビュなどで会場への入りが遅れたり、帰りの新幹線の関係で多少プログラムの変更はありますが、古典から新作まで得意不了だが、会場を沸かせてくれました。

夕で会場を沸かせてくれました。当夜集まった観客は69名、有名な演目などの熟演の数々に満足いただけたと思います。そして、コソナの収束で中入りの豚汁も復活していただきました。(岩佐純)



熱心に年賀状を鑑賞する来場者



受付にて(正法寺庫裡)

まちなかアート部会 大仏様への年賀状展

令和5年
1/15
(金土日)

1月13日から3日間 恒例の年賀状展を大仏様の庫裡を会場に開催し、初めて地元元「アクトライヴ」の取材を受けました。中日、岐阜新聞には14日の朝刊と年末にも募集の記事が掲載されたお陰で、過去最大の616枚が集まりました。

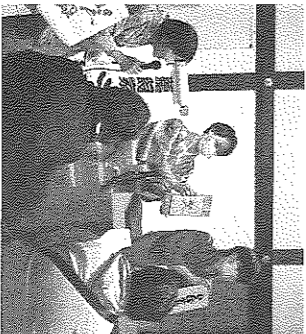
例年どおり岐阜小学校の児童や絵手紙グループの皆さんのほか、大仏様への思いや感謝の言葉、エピソードなどが添えられた年賀郵便での応募が半数を占め、出展者や、さらにはテレビや記事を見た近郊の方などが多く来場されました。正法寺会場後はアクトライヴ、にげん小規模ホムンに展示いたしました。来年もさらに多くの応募を期待しています。(伊藤逸夫)



高座の順に引き込まれる観客



中入りには豚汁の振る舞い



「井の口大笑」と次点に木製盾

事務局だより

●事務局長 片岡 学史

井の口まちづくり会は昨年

度設立15周年を迎えた。記念事業も関係各位のご協力も

と無事終えることができた。

今年度からまた次の5年10年

に向けて新たなスタートだ。

ところで金華地区(井の口地

区)はいま、住宅地として人気

があるらしい。交通の便が良

く、自然環境にも恵まれてい

るからか。そんな井の口地区

周辺だが、最近、広めの空き

地が目立つ。

先日定期総会での石松教

授の講演の中で「景観づくり

には、まち並みのシクエンス

(連続性)が大事だ」との言

葉があった。空き地に何がで

きるのか、魅力ある風景づく

りに資するため、シクエンス

を意識した建造物が出来上が

るのを楽しみにしたい。

●広報通信部会長 馬場わかよ

世交代の年といふべきか

初代会長を務め、長く特別顧

問として当会を見守り支えて

くださった堀達夫氏がまだま

だお元気であるのに高齢を理

由に退任され、新しくお二人

が幹事に就任されました。

奇しくもこの会を立ち上げ

初代事務局長を務めた河崎良

史氏が亡くなって10年を数え

る年になります。こうして、

まちづくり会の設立を共に歩

んだ人たちが去り、独り取り

残された感はいなまませんが、

新たに人をつくられた40代、50

代の若い幹事さん、この世代は

お仕事では働き盛り、家庭で

も子育ての大事な時期です。

無理することなくできる範囲

で、父親のような世代に新風

を吹き込んでください。